

患者図書室“いきいきの森”だより



「鷗外の坂」 森まゆみ

7月9日は、文豪・森鷗外の命日（鷗外忌）です。『舞姫』や『高瀬舟』などは、よく国語の教科書に載っているので、誰もが一度は鷗外作品に触れたことがあると思います。では、“森鷗外”という人物についてはどうでしょうか？鷗外のポートレイトを見ると、ちょっと怖そうな雰囲気ですが、子煩悩で子どもたちに「パッパ」と呼ばれていたり、甘党で「饅頭の茶漬け」なるものを食べていたり、なかなか面白いエピソードを持つ人物です。本書は鷗外ゆかりの地を辿りながら、その素顔と生涯を描いた評伝。鷗外忌に読んでみてはいかがでしょうか？

6月の貸出テーマランキング

1位 目

『患者さんから浴びせられる眼科疾患 100 の質問』

『白内障・緑内障・糖尿病網膜症』他

2位 糖尿病

『糖尿病食事療法のための食品交換表』

『専門医が治す！糖尿病』他

3位 心の健康

『笑いは心と脳の処方せん』他



図書の紹介

“いきいきの森”では、小さなお子さんにも病気やからだについて考えてもらえるような絵本を取り揃えています。どうして涙は出るのかな？すりむくと血が出るのはなんでだろう？—今月はそんなからだの不思議を楽しく学べる二冊を選びました。是非、親子で“いきいきの森”に遊びに来て下さい！



「ちのはなし」堀内誠一/ぶんとえ



懐中電灯でほったたを照らすと赤く見えるのは、なぜだろうか。やさしい実験をおりませながら、血の働きをわかりやすく描き、血と生命の大切さを伝えます。



「なみだくん ありがとう」小林まさこ/さく 今井弓子/え

めにごみがいっただきも、かなしくなったときも、なみだくんがでてきてだいかつやく。なみだくんは、どんなはたらきをするのかな？人間のからだのしくみや働きのすばらしさが、楽しいお話をとおしてわかる幼児絵本！3~6歳向。

